



2026 年 10 月 29 日

各 位

会 社 名 大 井 電 気 株 式 会 社
代 表 者 名 取締役社長 石 田 甲
(コード番号：6822 東証スタンダード)
問 合 せ 先 経営管理本部長 鈴木 康治
045-433-1361

2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想と実績値との
差異に関するお知らせ

当社は、2026年9月29日に公表いたしました2027年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）の連結業績予想と実績値との差異
(2026 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想（A） （2026 年 9 月 29 日発表）	百万円 14,300	百万円 △200	百万円 △200	百万円 110	円銭 84.70
実績値（B）	13,908	△594	△541	△247	△190.86
増減額（B－A）	△392	△394	△341	△357	
増 減 率（％）	△2.74	－	－	－	
（ご参考）前期中間期実績 （2026 年 3 月期）	11,836	226	203	207	157.34

2. 差異が生じた理由

売上高につきましては、情報通信機器製造販売事業において、主に光伝送装置等の一部案件の売上計上時期が下期以降にずれ込んだことにより、前回発表予想を下回りました。

損益につきましては、主に情報通信機器製造販売事業において、売上高減少に伴う減益（約 233 百万円）、及び原材料価格の高騰に伴う原価の悪化及び棚卸資産処理費用等の増加（約 248 百万円）があったことにより、営業利益は前回発表予想を下回りました。経常利益は、為替差益等の営業外収益計上により約 53 百万円改善したものの、営業利益の減少を補うには至らず前回発表予想を下回りました。親会社株主に帰属する中間純利益は、上記の営業利益・経常利益の減少を主因として、前回発表予想を下回りました。

3. 通期の連結業績予想について

通期の連結業績予想につきましては、売上計上時期がずれ込んだ光伝送装置等の案件が下期に計上される見込みであること、及び第 2 世代スマートメーター向け通信機器において収益性改善に向けた取り組みの進捗が見込まれることを踏まえ、現時点では 2026 年 7 月 29 日公表の通期連結業績予想を据え置いております。

今後、業績予想の修正の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

（注）上記の予想は、現時点で当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により見通しと異なる結果となる可能性があります。

以 上